

Desert Wind (No.22)

Las Vegas Japanese Community Church

SEPTEMBER 2008

『わたしは荒野に道を設け、さばくに川を流れさせる』(イザヤ 43:19)

編集: 平山未樹

『幸いな人生のための気づき』

LVJCC 牧師 鶴田健次

皆さんは幸せですか。自分の生涯を閉じる日が来たとき、「ああ、私の人生は本当に幸いな人生だった。そして、これからは更に素晴らしい、新たな人生が私を待っている。」ということの本気で言うことができるなら、その人は本物の幸せをつかんでいる人だと言えます。また本当の自分を生きている人だと言えます。

人は誰でも、それなりに、生きる上での、心の拠り所や、人生の目的を持っています。しかし、もし人が、普遍的な心の拠り所を持たず、普遍的な人生の目的を持っていないければ、その人は本当の幸いを得ているとは言えません。また本当の自分を生きているとも言えません。普遍的な心の拠り所も、普遍的な人生の目的も、神を知ることなしには絶対に得られないのです。神を知り、神と共に生きている人は、神の愛という座標軸をもとに自分の人生を見ようとします。またいつも永遠という視点に立って物事を見ていきます。ですから、そういう人は、自分の不幸を他人や状況のせいになどせず、どういう状況でも、その中に幸いを見出していくことができるのです。

皆さんは、自分を幸せに出来るのは世界中で自分しかいないことをご存知ですか？また自

分を不幸に出来るのも世界中で自分以外にはいません。この事実を知らないで生きている人がおられますが、その状態は、まさに自由を失った『かごの中の鳥』のようなものです。本当は羽ばたく力があるのに、かごを理由にして羽ばたこうとしない。もっと自由に歌えるのにその歌を忘れてしまっている。皆さんは如何ですか？

アニー・チャップマンという婦人伝道者のこんな話があります。ある日、彼女は、五百人が参加した婦人集会で講演をしたそうです。集会が終わって、会場を出ようとしたら、一人の婦人が、誰もいなくなった会場の後の方に座っていました。アニーは彼女のそばに近づき、話しかけました。その婦人は、三人の子供を持つ母親で、17歳の長男は、筋ジストロフィーのために車椅子の生活をしていて、他の二人の子供も、情緒的な問題を抱えているということでした。その婦人はアニーにこう言いました。

「私の生活を悲惨にしているのは、実は夫です。息子の養育に関しては、何の助けもしてくれません。トイレに行く間、息子を抱いていて頼んでも、それさえしてくれないのです。私の父が今亡くなりました。父は、私には何の財産も分けてくれませんでした。私の夫を憎んでいたからです。」

そしてさらに彼女は、驚くべき発言をしました。「私は今日の集会に、一つの祈りを持って

きました。それは、夫を殺して欲しいという祈りでした。『神様、私はかごの中の鳥です。どうか、私のために出口を用意してください』と祈りました。すると、今まで感じたことがない程はつきりと、『かごの中の鳥でさえ歌いますよ』という神様の声が聞こえました。先生、私はこの答えをどう受け止めればいいのですか？そう彼女は尋ねました。アニー・チャップマンは、こう答えました。「神様が『歌いなさい』と仰るなら、あなたは自分の歌を見つける必要があります。」

「神様が『歌いなさい』と仰るなら、あなたは自分の歌を見つける必要がある。」いかがでしょう。困難からの脱出は、そのほとんどが、環境を変えればよいというようなものではありません。たとえ環境を変えても、その人が変わらなければ、その人の問題はどこにでも付いて来て、また必ずそこで芽を出してしまいます。本当の問題解決は、神様が、なぜその困難を自分の前に置いておられるかという問いに対する答えを見つけ、それと取り組むことによって得られるものです。ですから、人には、「ああ、私には、この事が見えていなかった」という神の視点から見た気づきが必要です。素晴らしい人生の扉は、『私には、この事が見えていなかった』という気づきによって開かれていくものです。

証し(後半)

山中綾

2001年にはNYでテロがあり、その影響でラスベガスの観光も一気に冷え込み、私は解雇され、ツアー会社も倒産。一見不幸に見える私の状況でしたが、失業保険と与えられた時間により、娘を育てることに集中できるようになりました。しかし、大金ではないので、一人で子育てをするのは容易ではありません。地元のカトリック教会が無料で配っているおむつと食べ物ももらっていました。そこで働く女性が私をギュッと抱きしめて、慰めてくれました。彼女は「日本が恋しいなら、日本人の教会とかなない？」と聞くので、その時は日本人教会の存在さえ知りませんでした。少しそのことが心に引っかかっていました。

娘が1歳になり、仕事を再開しました。デイケアに子供を預け、仕事をして、車もなかったので、ストローラーを押しながらバスに乗って、という生活です。時には、辛い時だったので、涙を流しながら、何かに祈り求め、ストローラーを押していました。しかし、辛い中でも、何か不思議な力に守られていることさえ感じていました。そんなある日、Japan Foodという日本食マーケットへ行き、日本人教会の張り紙を見つけました。あの時、カトリック教会で私を慰めてくれた女性のことを思い出しました。そして、教会に電話し、呉服さんご夫妻に出会い、車のなかった私を教会へ行くのに迎えに来てくれました。教会ではRick兄と久美子姉に出会い、久美子姉が毎日のように娘を預かってくれて、私は仕事へ行くことが出来ました。教会で神の家族の愛に触れました。弁護士を雇う費用もなかったため、前の夫との離婚が解決することが出来ず困っていたある時、バス停でKevinという軍出身で法律関係に詳しい人に出会いました。彼に離婚手続きが自分でも出来ることを教えてもらい、3ドルの離婚届の書類を手に入れ、また彼が離婚の書類を作成するのも手伝ってくれました。離婚調停に元夫は出廷しなかったため、子供の親権は全て私のものになり、またTPOをつけたままで、離婚が成立しました。

入門者クラスを受け、イエスキリストが神の御子であったこと、神の御子が私の罪のために十字架に架かって身代わりになってくれたこと、そして死から復活し、神であることを証明したこと、全てが明確なものへ

と変わりました。いつも守られている、愛されている、神様のことは信じていたけど、それが一体何なのか、神様は一体どういうお方なのか、全てが明らかになりました。ほんやりしていたものがはっきりと分かりました。2003年12月21日、末廣マリナ姉と、山本ハル兄と共に受洗の恵みに預かることが出来ました。

いつも神様は仕事の面でも導いてくださいました。私が仕事を探している時、なかなか見つからず落ち込み、先生に「どうしよう。」と相談の電話をしていると、再就職先から面接の電話が、先生と一緒に祈っている最中にキャッチフォンで入ってくるのです。そんなことが2回もありました。仕事を失うと、不安になるときもあります。でも、必ず前の職場よりももっと良い場所を与えてくださるのです。

娘のことも、シングルマザーなので大変ですが、久美子姉をはじめ、ルームメイトが与えられたり、今はConnieという素晴らしいクリスチャン女性が、教会のため、また娘を夜中働く私のために預かって下さり、いつも神の家族の愛に感謝しています。以前デイケアで娘が虐待を受けたこともあり、子供を預けるのに信頼できる人を祈り求めていました。Connieと出会ったのはそんな時です。彼女と出会った時には、彼女から溢れ出る何かを感じました。そして、イザヤ書41章10-13の御言葉が頭を過りました。

「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神、たじろぐな、わたしはあなたの神、勢いを与えてあなたを助け、わたしの救いの右の手であなたを支える。……わたしは主、あなたの神、あなたの右の手を固く取って言う、恐れるな、わたしはあなたを助ける、と。」

神様は必ず必要な物を与えてくださり、祈りは聞かれるのだと実感しました。いつも私は神様の一方的な恵みと愛により、生かされていることを感じずにはられません。イエス様に出会う前は、自己中心的で自分の欲望のままに生きてきました。イエス様の愛にふれ、神の家族の愛に触れ、私もイエス様の愛を実践していく者へとなりたいと願います。特に、私と同じ境遇に置かれているシングルマザー達に重荷を持ち、助けになりたいと思います。神様に頼り、委ね、御言葉に従う時に、必ず道は開きます。絶えず私を導かれる神様に感謝し、この愛を一人でも多くの人に伝えていきたいです。また私たち家族を支えてくださる神様と兄弟姉妹に感謝します。

案内・ニュース

- ・ 9月6日(土)は以津子 Hubbard 姉宅にて、シニアミニストリー主催のBBQの集いを致します。老弱男女に拘わらず、どなたでも歓迎します。
- ・ 9月13日(土)は、Red Rock Canyonにて、Fellowship 委員会主催によるハイキングを致します。参加される方は教会に9:00AM 集合です。
- ・ 教会の新しい場所を探しています。良い情報がありましたら、ぜひご一報ください。
- ・ 9月21日(日)の礼拝で、WLA ホーリネス教会の新井雅之兄が証をしてくださいます。
- ・ 日本の山形県天童市の神保廣志兄より、楓を和紙で覆った御言葉のしおりを教会員全員のために送っていただきました。感謝!

DREAMS COME TRUE

- ✦ 教会堂の建設
- ✦ 敬老ホームの設立
- ✦ 幼稚園の設立

